

## 化学委員会（第26期・第10回） 議事要旨

I 日 時：令和6年12月27日（金）11:00～14:00

II 会 場：日本学術会議 講堂、オンライン会議（ZOOM）

III 出席者：（現地出席）

岡本 裕巳（委員長）、北川 尚美、菅 裕明、高柳 大、玉田 薫、西原 寛、  
福島 孝典、三浦 佳子

（オンライン）

石原 一彰、佐々木 園

（第二部議事2に関してオンライン同席）

腰原 伸也（物理学委員会）

（11名、敬称略）

欠席者： 鈴木 朋子

※第一部、第三部では化学委員会傘下各分科会の委員が現地またはオンラインで出席した。

### IV 議 事

第一部：講演会「化学分野のベンチャー・スタートアップ」

化学分野でベンチャー・スタートアップ企業を起こした経験を持つ2名の講演者、菅 裕明（東京大学教授、日本学術会議第三部会員）、中村 慎吾（株式会社 Veritas In Silico 代表取締役社長）が、それぞれの起業における経験、課題等について講演した。それを受けて、質疑応答が行われた。

第二部：1) 連携シンポジウムについて

シンポジウム「カーボンニュートラルに向けた水素の多面的な利活用（仮）」を物理委員会が主催するが、化学委員会にも主催の協力が打診された。反対意見無く、化学委員会も主催者に入ることが了承された。

第二部：2) 停年会員の後任候補者の推薦について

西原委員が会員としての定年となるため後任候補を選出する必要がある。無機化学分科会より3名の推薦を受け、それぞれの推薦書およびその3名について1位～3位の順位の案が委員長から示された。推薦書の内容と順位について審議の結果、反対意見無く了承された。この結果を第三部に報告する。

なお審議にあたっては、近隣の分野の会員として腰原会員（物理学委員会委員長）に同席い

ただいた。

### 第三部：化学委員会全体会議

化学委員会傘下の各分科会の委員の現地またはオンライン出席を得て、全体会議を開催した。

委員長から 2024 年 4 月以降の総会、第三部会の状況、および化学委員会での活動状況に関して席上配布資料に基づき報告があった後、各分科会委員長から 2024 年 4 月以降の分科会の活動状況に関する報告があった。

#### < 配布資料 >

資料 1：前回（第 26 期第 9 回）議事要旨

資料 2：連携シンポジウム提案書

席上配布資料：12 月 22 日総会参考資料 1、同資料 2、12 月 22 日会長談話、第三部夏季部会シンポジウム（8 月 1 日）フライヤー、化学委員会公開シンポジウム（6 月 11 日）フライヤー、見解「日本の社会・産業をリードする化学系博士人材の育成支援と環境整備」フォローアップ・レポート

以上